

第 93 回職業能力開発分科会における主なご意見

1. 訓練カリキュラムのあり方について

- 「社会人スキル」には、職業に関する態度の側面も含まれる。
- 基礎コースから実践コースに連続受講する場合は、キャリア・コンサルティングを必須にして欲しい。
- 制度周知は重要である。求職者支援制度の対象者に適切に伝わるように工夫が必要。
- 「社会人スキル」の省略の判断については、適切に行って欲しい。
- 基礎コース終了時点で、連続受講させる前に、一旦就職活動を促すことが必要ではないか。
- キャリア・コンサルティングを活用することは重要だが、すべてをカバーできる訳ではない。

2. 女性の活躍促進等について

- 託児サービスの導入に伴う費用負担をどのようにカバーしているのか。
- eラーニングについては前向きに検討していただきたい。
- eラーニングが、求職者支援制度に馴染むか疑問であり、慎重に検討をお願いしたい。

3. 建設分野における訓練コースの設定について

- 多能工化を可能とする仕組みを検討していただきたい。

4. 訓練実施機関の確保について

- 基礎コースのカリキュラムを充実させるのであれば、現行の雇用保険就職率基準である 30%は低すぎるのではないか。将来的には基準の引き上げも検討してほしい。
- 欠格要件については、引き続き、検討していただきたい。